



# (84)バス路線網改善についての不断の見直し

## これまで

バス路線網の合理的基準による見直しを図ってきました。

- 「奈良県地域交通改善協議会」において、「移動ニーズに応じた交通サービス」の実現に向け、路線の必要性・補助の妥当性を5つの診断指標に基づき判断することを市町村と合意。(平成25年10月)
- 県全域を18のグループに振り分けた路線別検討会議において、路線概況、『診断』結果等をまとめた「バスカルテ」を作成。
- PDCAサイクルにより、診断指標に基づき、毎年度診断を客観的に実施。この結果、**診断結果が全体として改善傾向**にあると判断。

・ 1便あたり利用者数	3.0人以上
・ 平均乗車密度	2.0人以上
・ 最大乗車人員	10.0人以上
・ 収支率(交通事業者)	40%以上
(市町村連携)	20%以上
・ 利用者一人あたりの行政負担	2,000円以下

【5つの診断指標】

## もっと良くするために

県内市町村、奈良交通と協力して県内バス路線網の改善について不断の見直しを行います。

- ・ 今後も、PDCAサイクルにより、5つの指標に基づき、毎年度診断を客観的に実施します。その結果、「要改善」となった路線については、市町村と協働・連携してバス路線網の見直しを行います。
- ・ バス需要の変化に対応するため、新たなバス路線の創設などバスサービスの改善について関係市町村と検討します。
- ・ 「奈良県公共交通基本計画」、「奈良県地域公共交通網形成計画」を改定します。
- ・ バス運転手のMRI検査の実施など安全対策の強化を図ります。

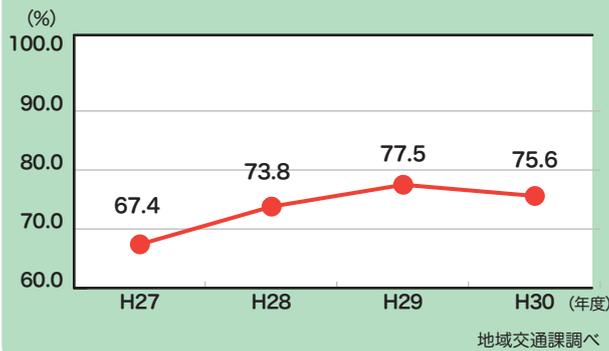
## 目指す姿

関係市町村と連携しバス路線網の見直しを行い、バスサービスの改善を図ります。

最近、路線バスの本数やダイヤが変わったよね！



### 5つの指標全てを達成している系統の割合



よく知ってますね。移動ニーズに応じた交通サービスの実現を目指して、バス路線網の見直しを行っています！



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
県内バス路線網の見直し	公共交通基本計画等の改定	地域交通改善協議会の開催	
バスの運行費補助	バス路線のPDCAサイクルによる5つの指標に基づく診断		



# (85) バス停アメニティ向上・バス輸送サービス改善

## これまでは

バスは県民、市民の足であるとともに、観光客の利用もあります。弱いと言われてきた域内輸送サービスの改善が必要です。

- バス停アメニティ向上を図ってきました。  
バス停上屋21基の整備を支援
- バスロケ整備を進めています。  
奈良交通路線バスの位置情報をGPS方式によりパソコン・スマートフォン(バス検索サイト)、主要バス停等に設置されたデジタルサイネージで提供するバスロケーションシステムを整備



バスロケーションシステム  
(スマートフォン画面イメージ(奈良バスなびweb))

## もっと良くするために

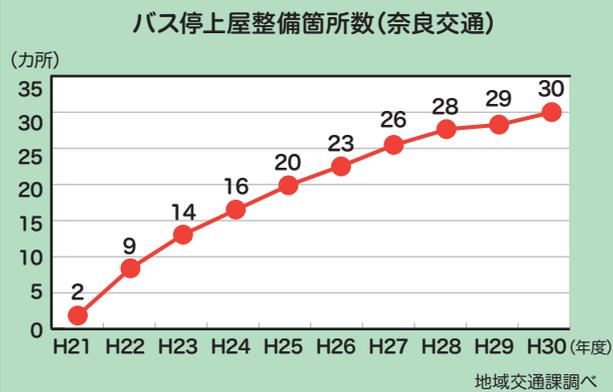
域内移動快適化のための輸送サービスの改善をさらに進めます。

- ①バス停アメニティ向上に向けた取組を支援していきます。  
・バス停上屋やベンチなどの設置  
・多言語対応の案内標識や多機能トイレ設置など、バス停を高機能化
- ②バスロケ整備をさらに進めます。  
・奈良県コンベンションセンターバスターミナル、大和八木駅、大和西大寺駅、主要な病院等にバス総合案内システムを設置  
・バスロケQRコードを観光客の多いバス停より、順次全バス停に整備
- ③観光地広域周遊バスの実証運行について支援していきます。
- ④郵便局、コンビニ、事業所内でのバス停機能設置可能性について検討します。

## 目指す姿

公共交通の利用環境の整備を進めます。

最近、バス停に次のバスの位置が分かる設備や、鉄道駅等にバス停等の案内が表示されている設備を見かけるようになったね!!



そうなんです!! バスの利用が、もっと便利になるように、バス停の上屋やベンチの整備も進めていきますよ!!!



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
バス停上屋・ベンチ等の整備	奈良交通、市町村への支援		
バスロケーションシステムの整備	奈良交通、市町村への支援		
観光地広域周遊バスの実証運行	奈良交通への支援		



国道168号(仮称)新坂本橋の工事現場(五條市)



国道168号十津川道路開通式(十津川村)



バス総合案内システム(JR奈良駅)